管，活動場所における安全指導などを徹底するものとする。

第５　美術Ⅱ

１　目　標

美術の創造的な諸活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，美的体験を深め，生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，個性豊かで創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり，自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性と美意識を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

２　内　容

Ａ　表　現

表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 絵画・彫刻

絵画・彫刻に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想

(ｱ) 自然や自己，社会などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成すること。

(ｲ) 主題に応じて表現形式について考え，個性豊かで創造的な表現の構想を練ること。

イ　発想や構想をしたことを基に，創造的に表す技能

(ｱ) 主題に合った表現方法を創意工夫し，個性豊かで創造的に表すこと。

(2) デザイン

デザインに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　目的や機能などを考えた発想や構想

(ｱ) 目的や条件などを基に，人と社会をつなぐデザインの働きについて考え，主題を生成すること。

(ｲ) 社会におけるデザインの機能や効果，表現形式の特性などについて考え，個性豊かで創造的な表現の構想を練ること。

イ　発想や構想をしたことを基に，創造的に表す技能

(ｱ) 主題に合った表現方法を創意工夫し，個性豊かで創造的に表すこと。

(3) 映像メディア表現

映像メディア表現に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　映像メディアの特性を踏まえた発想や構想

(ｱ) 自然や自己，人と社会とのつながりなどを深く見つめ，映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。

(ｲ) 映像表現の視覚的な要素などの効果的な生かし方について考え，個性豊かで創造的な表現の構想を練ること。

イ　発想や構想をしたことを基に，創造的に表す技能

(ｱ) 主題に合った表現方法を創意工夫し，個性豊かで創造的に表すこと。

Ｂ　鑑　賞

鑑賞に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 鑑賞

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞

(ｱ) 造形的なよさや美しさを感じ取り，発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え，見方や感じ方を深めること。

(ｲ) 目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り，発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え，見方や感じ方を深めること。

イ　生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞

(ｱ) 環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り，心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて考え，見方や感じ方を深めること。

(ｲ) 日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから表現の独自性などを感じ取り，時代，民族，風土，宗教などによる表現の相違点と共通点などから美術文化について考え，見方や感じ方を深めること。

〔共通事項〕

表現及び鑑賞の学習において共通に必要となる資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 「Ａ表現」及び「Ｂ鑑賞」の指導を通して，次の事項を身に付けること